個　人　質　問	議会事務局 処　理　欄	令和８年１１月１２日　１０時５７分　受付
		質　問　順　位　第 １３ 番

武豊町議会議長　石川　よしはる　殿

武豊町議会議員　　櫻井　雅美

一　般　質　問　の　通　告　に　つ　い　て

令和８第４回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質　問　事　項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
１．子どもの権利と尊厳を守る監察室の役割と対応体制について	今年度から始まった子どもの声を受け止める取組は、子どもの権利と尊厳を守り、問題の解決につなげることが重要です。一方、子どもへの聴き取りや関係者への対応には専門性が求められ、対応によって新たな負担を生じさせない配慮が必要です。そこで、寄せられた案件数と対応状況を確認するとともに、監察室が関与する判断基準、所管課との役割分担、専門職との連携について伺います。子どもの声を受け止めた後の事実確認から説明、改善、検証まで、責任を持って対応する体制となっているのか、町の認識と今後の具体的な改善方針を伺います。
	【質問事項】 ①　子どもに関する相談は何件あり、どのように対応しましたか。 ②　子どもから声が上がった案件は、すべて監察室が対応しますか。対応の判断基準と所管課との役割分担はどのようになっていますか。 ③　子どもへの聴き取りは、どのような手順で行い、専門職はどのように関与しますか。 ④　対応結果を相談者にどう説明し、改善と検証につなげていますか。
２．災害時に妊産婦・子どもとその家族を守る体制について	【趣旨説明】 11 月８日の地震を踏まえ、災害への備えを具体的な行動に移す必要があります。避難環境の変化や支援・福祉サービスの中断は、障がい児等に二次障害をもたらし、その後の人生を左右する可能性もあります。９月議会では、通い慣れた民間施設の活用や保育園等の BCP との連携について、意向調査や検討を進める旨の答弁がありました。その後の進捗を中心に、被災時の出産と産後１か月の母子への支援も含めて伺います。明日にも起こり得る災害に対し、命を守る責任と危機感を持ち、具体策と実施時期を示す、緊張感のある答弁を強く求めます。
	【質問事項】 ①　被災時に搬送が困難な妊婦への対応について、９月以降、何を検討しましたか。分娩キットの備蓄と専門職との連携をどう整えますか。 ②　被災した産後１か月までの母子について、避難先の確保、母体の回復や新生児の健康管理、授乳・育児への支援をどう行いますか。 ③　保育園の BCP について、保護者が迎えに来られない場合の子どもの保護、職員の交代・応援、段階的な保育再開を、町としてどう支えますか。 ④　障がい児と家族が、発災直後から通い慣れた施設等へ避難できる体制について、事業所への意向調査は進んでいますか。受入先の確保と支援をどう具体化しますか。